

令和3年度

事業報告

法人経営部門

法人全体の管理・他の部門が事業を遂行しやすい環境をつくる

重点目標に対する総合評価

未だ収束の兆しが見えない新型コロナウイルス感染症に対しては、手指消毒、検温、マスク着用などを継続し、アクリルパネルを設置するなど、感染予防対策の実施に努めた。

第3期となる発展・強化計画は策定したものの、事業継続計画（BCP）は策定に至らなかった。

組織管理

1 会員の募集

法人の目的に賛同していただいた方に、1口500円の会費を募る。また、集められた会費は地域福祉活動に有効活用する。

(1) 一般会員 4,018世帯（貞光 1,896世帯・半田 1,741世帯・一字 381世帯）

(2) 特別会員 24名（理事 8名・監事 2名・評議員 14名）

2 理事会の開催

開催概要	審議内容
第1回 理事会 決議の省略 理事 11名、監事 2名 提案日 令和3年5月25日 決議日 令和3年5月28日	令和2年度 事業報告及び収支決算（監査報告）について 令和3年度 第1回 補正予算について 社会福祉基金助成 活動完了報告について 第1回 評議員会の開催について 専決処分の承認について（令和2年度 第8回 補正予算） 専決処分の承認について（生活困窮者一時立替金の支出） 専決処分の承認について（組織規程の一部改正）
第2回 理事会 決議の省略 理事 8名、監事 2名 提案日 令和3年6月18日 決議日 令和3年6月24日	会長・副会長・常務理事の互選について 処務規程の一部改正について 社会福祉基金規程の一部改正について 評議員選任・解任委員の選任について 評議員の推薦について 第1回 評議員選任・解任委員会の招集について 専決処分の承認について（生活困窮者一時立替金の支出）

第3回 理事会 決議の省略 理事 8 名, 監事 2 名 提案日 令和 3 年 9 月 13 日 決議日 令和 3 年 9 月 16 日	第 17 回 社会福祉大会について 苦情解決事業 第三者委員の選任について 専決処分の承認について（令和 3 年度 第 2 回 補正予算） 専決処分の承認について（生活困窮者一時立替金の支出） 職務執行状況の報告について
第4回 理事会 決議の省略 理事 8 名, 監事 2 名 提案日 令和 4 年 3 月 14 日 決議日 令和 4 年 3 月 17 日	発展・強化計画の策定について 令和 4 年度 事業計画及び収支予算について 令和 4 年度 社会福祉活動助成について 第 2 回 評議員会の開催日時及び場所、議題について 専決処分の承認について（令和 3 年度 第 3・4・5 回 補正予算） 専決処分の承認について（生活困窮者一時立替金の支出） 専決処分の承認について（災害等被災見舞金の支出） 専決処分の承認について（会計規程の一部改正） 職務執行状況の報告について

3 評議員会の開催

開催概要	審議内容
第1回 評議員会 決議の省略 評議員 15 名, 監事 2 名 提案日 令和 3 年 6 月 11 日 決議日 令和 3 年 6 月 16 日	令和 2 年度 事業報告及び収支決算（監査報告）について 令和 3 年度 第 1 回 補正予算について 理事・監事の選任について 専決処分の承認について（令和 2 年度 第 2・3 回 補正予算） 専決処分の承認について（令和 2 年度 第 8 回 補正予算） 専決処分の承認について（組織規程の一部改正）
第2回 評議員会 決議の省略 評議員 14 名, 監事 2 名 提案日 令和 4 年 3 月 25 日 決議日 令和 4 年 3 月 30 日	発展・強化計画の策定について 令和 4 年度 事業計画及び収支予算について 専決処分の承認（令和 3 年度 第 2・3・4・5 回 補正予算） 専決処分の承認について（会計規程の一部改正）

4 評議員選任・解任委員会の運営

開催概要	審議内容
第1回 評議員選任・解任委員会 決議の省略 委員 5 名 開催日 令和 3 年 6 月 25 日	委員長の選任について 評議員の選任について

5 福祉サービスに関する苦情解決

苦情対応の実績はなかった。

開催概要	内 容
苦情受付担当者・第三者委員 研修会 開催日 令和4年3月8日 場 所 Zoom によるオンライン開催 参 加 第三者委員 2名, 担当 1名	事業説明 「運営適正化委員会アンケート結果から見た傾向と課題」 講義「苦情相談を修復的対話として取り組むための基礎知識」 講師 徳島県医療ソーシャルワーカー協会 会長 郡 章人 氏

★6 発展・強化計画の進捗管理

第3期 計画（2022年度～2024年度）を策定した。

★7 事業継続計画（BCP）の策定

重点事項として挙げていたが、計画を策定することができなかった。

8 個人情報保護に対する対応

個人情報保護規程に則し、利用者等の個人情報について適正な取扱いの確保に努めた。

★9 新型コロナウイルス感染症の予防対策

職員のマスク着用や手指消毒の徹底、相談室や受付にアクリルパネルを設置する等、感染予防対策を実施した。

労務管理

1 役職員の研修

新型コロナウイルスの感染拡大を懸念して実施しなかった。

2 職員の適正配置

事務分掌により職員の適正配置に努めた。

3 職員福利厚生等の充実

ソウエルクラブへの加入や、健康診断の実施等、福利厚生の実施に努めた。

4 職員間の情報共有

係長会議（隔月開催）や定例会議（月末開催）を通じて、情報共有に努めた。

5 労働環境の改善

新型コロナウイルス感染症には、マスク着用、手指消毒、アクリル板の設置、検温等の感染症予防対策に努めた。

財務管理

1 会計処理

適正な会計処理に努めた。

2 監査の実施

実施名	実 施 内 容	実施日及び場所	参加人員
定期監査	令和2年度(12月～3月分) 社会福祉事業（合計）	令和3年5月10日 地域拠点センター	監事 2名
決算監査	令和2年度(4月～3月分) 社会福祉事業(合計) 令和2年度 事業報告及び会計決算	令和3年5月10日 地域拠点センター	監事 2名
定期監査	4月～7月分 社会福祉事業（合計）	令和3年8月6日 地域拠点センター	監事 2名
定期監査	8月～11月分 社会福祉事業（合計）	令和3年12月8日 地域拠点センター	監事 2名

3 備品及び固定資産の管理

車両・パソコン等、必要に応じた購入・廃棄など、適正な管理に努めた。

4 団体の会計処理

団体の適正な会計処理に努めた。

広報

1 町広報誌等を活用した情報提供

町広報誌「広報つるぎ」に掲載または同封。IP告知放送サービスを活用し、各種イベントの案内や事業に関する情報提供を実施。

2 ホームページによる広報

本会が行う福祉活動や幅広い福祉の情報を周知するため、ホームページにより情報を公開すると共に事業内容等の情報を発信している。

3 一般・特別会員への報告・周知

昨年度の事業報告及び収支決算と今年度の事業計画及び収支予算を記載した活動報告書を、7月末発行の町広報誌に同封して全戸配布した。

地域福祉活動推進部門

地域を基盤としたソーシャルワークを行うこと

重点目標に対する総合評価

新型コロナウイルス感染拡大防止のため多人数集合型事業のほとんどは中止したが、広報紙「しゃきょうのかわらばん」を2回発行し全戸配布するなど、住民の地域福祉への意識の醸成や啓発活動を行った。個別の生活支援は、従来通り、必要に応じて部門間で情報を共有し、関係機関と連携し支援を行った。また、新しい生活様式での支え合い活動や法人後見事業など新たなサービスの実施に向けて役場と協議・検討を進めた。

総合相談

1 弁護士相談	予約相談	計 6回 開催	相談件数 17件
2 司法書士相談	予約相談	計 14回 開催	相談件数 27件
3 理学療法士相談	月1回	計 12回 開催	相談件数 56件

個を地域で支える援助

★1 ひとり暮らし高齢者安心事業（受託先：つるぎ町）

65歳以上のひとり暮らし高齢者世帯に対して、安心生活訪問員が定期的に訪問活動を行うことにより安否確認や不安解消、情報の提供などを実施。孤独感や不安感をなくし、安心して生活できるよう住民との関係づくりに努めた。また、訪問活動を通しての相談事項について、関係機関等と連携し解決を図った。災害時の避難手段や誘導等、支援者の有無に関する聞き取りを実施、結果を基に民生委員等と連絡・対応先の調整を行った。

令和4年3月末現在

訪問対象者数	576名	（半田 220名	貞光 244名	一字 112名）
延べ訪問件数	16,019件	（半田 5,035件	貞光 6,019件	一字 4,965件）
要対処相談件数	194件	（半田 98件	貞光 52件	一字 44件）

相談事項	不安解消	介護サービス	健康医療	家計経済	家族関係	社会関係	権利擁護	その他	合計
	79	36	30	4	0	7	0	53	209
対応策	個人	家族	地域住民	民生委員	民間会社	公的機関	行政	社協訪問員	合計
	10	18	17	4	25	10	72	126	282

2 みんなに安心お届け事業

地域福祉活動推進部門の事業担当に縛られることなく、社協職員の基本業務として地域住民や民生委員等の関係機関から情報提供や相談があった時に家庭訪問し状況確認を行い、医療機関の受診や福祉サービスの利用を促しながら、当事者に情報提供を行い関係機関に繋ぐなど生活課題の解決に向けて相談援助を行った。

3 生活困窮者自立支援事業（受託先：徳島県）

相談支援員を配置し、何らかの悩みを抱えている方や経済的に困窮している方の相談に応じ、事業利用申込をした相談者と共に目標（プラン）を立て、支援・助言を行った。緊急の際には支援物資の提供や、生活課題の解決に向けて関係機関との連携によるチーム体制で支援した。

相談件数	利用申込件数	目標（プラン）作成件数		
		家計相談	生活支援	就労支援
20	43	22	8	19

※プランは重複しており、利用申込件数とは異なります。

4 顔なじみ見守りネットワーク事業

民間事業者と協定を結び、地域住民の異変等を発見したときに迅速に対応できるようにしているが、事業開始当初から相談件数が減少しており、協力業者への情報提供、情報共有の方法を考える必要がある。

○ 協定締結業者数 25社

○ 相談件数 4件（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

対象者	ひとり暮らし高齢者
件数	4件
相談内容	安否確認 2件 精神面 1件 認知症 1件

★5 安心カプセル配布事業

ひとり暮らし高齢者等に対して、災害時・緊急時に必要な情報を保管する安心カプセルを配布しているが、新たな対象者への配布、情報の更新が進んでいない。

・設置件数 0件 ・累積設置件数 589件

6 スポーツ・レクリエーション教室開催等事業（受託先：つるぎ町）

(1) 第14回 つるぎ町障がい者スポーツ大会

新型コロナウイルスの影響により中止

(2) 日帰り研修

新型コロナウイルスの影響により中止

個を支える地域をつくる援助

1 いきいきサロンの支援・拡充

過疎・高齢化の影響だけでなく、新型コロナウイルスの影響による休止が続いているサロンが中止に至るなど、開催地区の減少が続いている。

・開催カ所（カッコ内は前年比）

半田 7カ所（－5）、貞光 14カ所（－2）、一字 8カ所（－1） 合計29カ所

2 地域懇談会及びふれあい給食会（配食含む）の開催支援と資金助成

会食・配食を実施した場合、年2回まで1食あたり400円を助成した。感染症対策のため、調理・会食はせず、購入した弁当を配食する場合にも助成対象とした。

◇ 助成実績（順不同）※丸囲い数字は回数、数字は延べ人数、カッコ内は配食数

半 田	貞 光	一 字
木ノ内南 ① 25 (15)	宮 内 ② 24 (1)	葛籠・桑平 ② 30 (7)
日 浦 ② 51 (19)	平 野 ② 36 (2)	赤 松 ② 99 (74)
小野上西 ① 28 (27)	吉 良 ② 93 (67)	明 谷 ② 72 (27)
	柴 内 ① 17 (17)	
	大南町 ① 15 (0)	
	長 瀬 ① 32 (20)	
	北新町 ① 8 (0)	
3カ所4回 延べ104(61)人	7カ所10回 延べ225(107)人	3カ所6回 延べ201(108)人
合計 13カ所 20回 延べ530(276)人（前年12カ所 18回 延べ520(339)人）		

3 第3期地域福祉活動計画の推進

次年度が第3期地域福祉活動計画の最終年度となるため、第4期地域福祉活動計画の策定に向けて、地区会活動報告書と広報紙「しゃきょうのかわらばん」を活用し、住民の支え合い活動の取り組み状況についてアンケート調査を実施した。

4 福祉推進委員との連絡調整及び地区会活動助成金の支給

行政区の駐在員に対して福祉推進委員を委嘱しているが、毎年交代する地区も多く、その役割を果たしてもらうことが難しくなっていると同時に、新型コロナウイルス感染症に関係なく、地区会活動実績がない地区もある。今後の地区会活動助成金の在り方を見直すため、役場からの行政区・駐在員への交付金等について情報収集を行った。

5 全町一斉河川・道路清掃

皆様のご協力により、7月4日（日）に全町一斉河川・道路清掃を行った。地域と一緒に活動することにより住民同士の絆を深め、今後の地域活動に繋がるきっかけとなった。活動の時期内容は地域によって異なる。（清掃内容：河川清掃、道路の草刈り、集会所周辺の清掃等）

当日は、午前8時30分より建設業協会の協力（ダンプカー持込み）をいただき各地区のゴミ収集を行い、収集された量は、可燃ゴミ 1,630 kg、不燃ゴミ 760 kg 合計 2,390 kgであった。なお、事故やケガなど万一のときに対処できる傷害保険に加入している。

例年、開催しているが、地域によっては高齢化が進み作業が負担になる地域が増加している。また、可燃ゴミ・不燃ゴミのみ回収するとしているが、刈り取った草が多く、ゴミを拾うという清掃ではなくなってきたため、関係機関と話し合い検討していく必要がある。

6 社会福祉大会の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、式典及び記念講演を中止したが、永年社会福祉の発展に貢献された方々の功績に対し敬意と感謝の意を表し表彰するとともに大会資料を作製し関係者に配付した。今後、地域活動を進める上での情報等の提供の場として開催していく。

(1) 第17回 つるぎ町社会福祉大会

開催日 令和3年10月23日（土）

主 題 心豊かに住み続けたい町つるぎをめざして

表彰者 大会長表彰4名、大会長感謝状8名・1団体、ダイヤモンド婚18組・金婚12組

ボランティアセンター事業

- 1 ボランティアをしたい方と、ボランティアのサポートを求めている方をコーディネート（つなぐ）したり、ボランティア活動に関する情報の収集・提供を行う。

ボランティアセンター登録・把握団体の活動実態と現状を把握するため、ボランティア活動保険加入手続きの際に、調査票により情報収集を行った。

・ボランティアグループ調査票 提出数 16団体

- 2 各種養成講座、講演会、福祉教育を通した啓発活動を実施し、ボランティア活動の活性化並びに、裾野拡大を図る。

ボランティアセンターだより「ふれあいのかけはし」を2回発行し全戸配布するとともに、Facebookに掲載した。福祉教育では、コンフォール貞光のご協力のもと、施設と学校がオンラインでつながり、新しい生活様式での施設見学を行うことができた。

団体運営支援及び協力

1 手をつなぐ育成会

会員及び会費を町内全戸募集、賛助会費収入実績 866,700円(2,889戸)

お寄せいただいた会費をもとに、知的障がい(児)者の福祉事業として、小・中学校の特別支援学級、小規模通所作業所、地域活動支援センターへの支援並びに交流会や年末在宅激励訪問等に使用させていただいた。

2 共同募金委員会

徳島県共同募金会より依頼され、つるぎ町共同募金委員会を事務局として支援する。

つるぎ町共同募金委員会より助成を受けて、事業経費の一部として使用させていただいた。

3 身体障害者連合会

4 遺族会連合会

5 献血活動への協力

町内で実施される献血活動の連絡調整に協力

令和3年7月9日(金) つるぎ町役場分館前(9:30～12:30、13:30～16:00)

400ml 60名 不採血者数 8名

令和4年2月25日(金) つるぎ町役場分館前(9:30～12:30、13:30～16:00)

400ml 43名 不採血者数 4名

6 関係機関との連携・協働

(1) 社会福祉法人清寿会との連携協定による「無料出張講座」の実施

新型コロナウイルスの感染拡大を懸念して実施しなかった。

団体活動への助成事業

1 団体への助成(財源:社会福祉基金)

(1) 助成申請 5件 412,500円

(2) 助成決定 5件 412,500円(令和3年3月1日 理事会で承認)

(3) 実施報告 5件 333,482円

2 団体等への助成(財源:善意銀行事業)

(1) 払出 善意の心を効果的に社会福祉の事業や活動に活用

ア. 特別払出金 2件 115,000円(福祉施設、中学校文集製本代)

イ. 物品 5件 カセットコンロ、布団敷パッド、掛毛布、三段ボックス
布団上下一式(2組)等

ウ. 指定払出物品 2件 車椅子3台

エ. 事業費 1件 21,798円(敬老ハガキ)

(2) 預託 福祉事業に理解をもって預託（寄附）いただいた善意の心

ア. 預託金	2 件	55,000 円
イ. 物品	3 件	毛布、冬用敷きパッド、大人用紙おむつ、消臭液、洗剤等
ウ. 指定預託金	1 件	60,000 円
エ. 指定預託物品	2 件	車椅子 3 台

生活支援

1 日常生活自立支援事業（受託先：徳島県社会福祉協議会）

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者等の判断能力が不十分な方の意思決定に寄り添い、地域での安心・安全な生活を送れるよう福祉サービスの利用手続きや日常的な金銭管理等を支援させていただいた。

新規契約 2 名、契約終了 2 名

契約件数 7 件 （令和 4 年 3 月末 現在）

（内訳）認知症高齢者 1 名、知的障がい者 2 名、精神障がい者 3 名、その他 1 名

2 福祉用具、福祉車両、レクリエーション用具の貸与事業

車イスや介護タクシーを利用したいが、介護保険では利用出来ない方からの相談が多くあり貸与を行った。また、新たに車イス 3 台が増えた。

福祉用具（車イス） 3 2 件

福祉車両（車イスを搭載できるもの） 1 8 件

レク用具（カラオケ、わたがし機等） 1 3 件

★3 チャイルドシート貸出事業

新生児から 6 歳未満を対象に無償で貸出。適正な保有台数について調整を行う。

種類（ B C : 新生児～3 歳 J : 3 歳～5 歳 ※体格により 5 歳以上も貸出可能 ）

	令和 2 年度		令和 3 年度	
	B C	J	B C	J
保有台数	89	51	89	51
貸出（継続）	55	27	57	22
（新規）	18	6	16	14
在 庫	16	18	16	15
廃 棄	0	21	0	0
出生数	24 人		28 人	

4 点字・声の広報等発行事業（受託先：つるぎ町）

つるぎ町に居住する視覚障がい者等に対し、情報取得の手段として、つるぎ町広報誌および暮らしのカレンダーをつるぎ町たまゆら友の会が朗読してカセットテープに録音し郵送した。

(1) 利用者 4名（令和4年3月末 現在）

個人への資金援助

1 生活福祉資金貸付事務事業（受託先：徳島県社会福祉協議会）

新規貸付は2件であった。また、償還4名により、貸付件数は10名（11件）となった。

資 金 種 類	R3年3月 までの 貸付件数	R3年度 貸付件数	償還 件数	延滞利子 他免除件数	現在 貸付件数
総合支援資金	0	0	0	0	0
生活支援費	0	0	0	0	
福祉資金	4	0	0	0	4
更正資金	3	0	0	0	
障害者更正資金・生業費	1	0	0	0	1
障害者更正資金・生技能習得費	0	0	0	0	0
住 宅 資 金	0	0	0	0	0
障害者自動車入資金	0	0	0	0	0
冠婚葬祭費	0	0	0	0	0
就職等支度費	0	0	0	0	0
緊急小口資金	0	2	2	0	0
教育支援資金	11	0	4	0	7
教育支援費	3	0	2	0	
就学支度費	8	0	2	0	8
合 計	15	2	6	0	11

特例貸付

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、休業や失業等により収入が減少し生活資金にお悩みの世帯に向け、緊急小口資金等の特例貸付を実施した。

特例貸付	R3年3月 までの 貸付件数	R3年度 貸付件数	償還 件数	延滞利子 他免除件数	現在 貸付件数
緊急小口資金	32	6	0	0	38
総合支援資金	13	8	0	0	21
合 計	45	14	0	0	59

★2 生活困窮者一時立替金（財源：社会福祉基金）

つるぎ町に居住し、公的保護または補助などを受けておらず、生活に困窮していると認められる者に対して生活費の一時立替を行う。財団法人つるぎ町社会福祉基金の解散に伴い、残余財産の寄附を受けて事業を引き継いだ。

(1) 生活困窮者に対する金銭の一時立替

ア. 一時立替	12件	1,020,000円	（令和3年度中の実績）
イ. 償還済額	46件	695,000円	（令和3年度中の実績）
ウ. 償還残額	23件	1,287,000円	（累計：令和4年3月末現在）

※ 所在不明の為、徴収不能となっていた1件の所在確認ができ、15,000円償還済。

3 災害等被災見舞金（財源：社会福祉基金）

今年度は、1件の災害により、合計100,000円を支出した。

4 小規模災害見舞金の交付（財源：善意銀行）

今年度は、1件の災害により、合計30,000円を支出した。

5 日常生活用具貸与料金等助成（財源：善意銀行）

今年度の助成実績はなかった。

介護・生活支援サービス部門

在宅での生活を継続していけるように支援する

重点目標に対する総合評価

前年度より継続して専門性やケアの質を高めるために職員間ミーティングの実施や他の事業所では取り組みにくい困難ケース、山間地域の受け入れ態勢を強化してきた。

居宅訪問介護事業に従事する介護職員不足については、ハローワークなどを活用し募集を行ってきたが、確保には至らず、部門内で業務の分担を行い、効率化を図っている。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として職員はマスク着用、検温、手指消毒等、感染予防対策を徹底し、事業所とは電話などで情報共有を図りながら、利用者の支援を行った。

介護サービス

★1 居宅介護支援事業（職員体制：介護支援専門員4名 ※1名は居宅訪問介護と兼務）

今年度の年間作成件数は対前年比、要介護72件減、要支援者32件増、認定調査は5件減、介護報酬は約5%の減となった。困難事例や山間地域への対応が多いため、件数や介護報酬だけで図ることはできないが、今後より地域や関係機関との連携を強化し、効率的な対応を行っていく必要がある。

(1) 居宅介護支援事業：要介護認定者のケアプラン作成

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作成件数	57	55	52	53	57	52	52	57	55	47	47	42	626

(2) 介護予防支援事業（地域包括支援センター受託事業）：要支援認定者の予防プラン作成

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作成件数	40	40	41	39	41	40	38	38	37	33	34	37	458

(3) 認定調査：認定調査員による訪問調査

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作成件数	10	7	9	8	8	7	8	9	5	8	5	8	92

★2 居宅訪問介護事業（職員体制：ホームヘルパー10名、内登録ヘルパー4名）

今年度は、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、検温、手指消毒、マスクの着用、除菌シートの常備などを行った。

事業については介護度や障がいに応じて利用者の在宅生活を支える対応を行っている。本会はずるぎ町内の在宅福祉サービスの低下を防ぐためにも事業を継続しているが、経営的に厳しく、

また介護人材の確保が課題となっている。他の事業所も同じ状況だと思われ町全体としても安定したサービスの提供が課題となっている。

今後も利用者のニーズに柔軟に対応できるよう、ケアプランに合致し、利用者の心身状況や思いに寄り添ったものとなっているかを精査し、実情にあったサービスとなるよう提案していく。また、利用者確保にも努め、事業を継続できるようにしていく。

(1) 介護保険事業

① 居宅介護事業：要介護認定者へのヘルパー派遣

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	27	22	23	23	25	22	22	20	21	18	18	18	259
利用回数	302	241	271	227	261	255	244	232	235	226	216	252	2,962

② 第一号訪問事業：要支援認定者へのヘルパー派遣

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	48	48	48	46	45	49	44	39	39	37	37	36	516
利用回数	272	252	272	265	257	244	232	217	207	189	172	212	2,791

(2) 障がい福祉サービス事業

① 居宅介護・重度訪問介護サービス：障がい者へのヘルパー派遣

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	9	8	8	8	8	8	7	7	6	6	7	6	88
利用回数	115	110	103	115	111	117	101	98	67	74	50	50	1,111

② 行動援護サービス：知的・精神の障がい者への外出時における必要な援助

利用実績 なし

3 受託事業

(1) つるぎ町地域支援事業 家族介護者交流事業

日帰り研修旅行を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により開催を中止した。また、参加希望者が減少・固定化していることから、今後の事業の在り方について、役場と協議を進めることとなった。

(2) つるぎ町養育支援訪問事業（受託先：つるぎ町）

(3) つるぎ町地域生活支援事業 移動支援事業

(2)(3) 利用実績 なし